

加茂学区まちづくり推進委員会

委員長 小林 弘志

（問合せ先） 084-972-5541（加茂公民館）

## 事業内容

(1) 第25回加茂ふれあい文化祭 作品展（11月7～13日）

(2) 協働のまちづくりPR（通年）

(3) 広報紙発行事業（通年）

(4) まちづくり推進委員会運営事業（通年）

(5) 記念行事基金積立事業

(6) コミュニティ育成事業（通年）

(7) 第13回加茂知っとる検定（2月4日，5日）

(8) 子ども会書道大会（11月3日）

(9) 第13回加茂学区駅伝・マラソン大会（11月20日）

(10) しめ縄づくり（12月18日）

(11) お年寄りをお招きする会（3月22日）

コロナ禍のため会の開催は中止し，中学生が老人クラブ会員に手作りのプレゼントを進呈

(12) 学校・家庭・地域が連携できる組織づくり（通年）

安全確保対策メール配信システム登録依頼のちらしを自治会加入世帯全戸に配布

(13) 花いっぱい運動（6月12日，12月4日）

(14) 家庭ごみの分別の周知徹底（通年）

啓発ちらしを自治会加入世帯全戸に配布

(15) 飼い犬の糞の処理対策（通年）

啓発ちらしを自治会加入世帯全戸に配布，啓発看板の設置

(16) グラウンドゴルフ大会（7月27日，11月24日）

(17) 「ペタンクゲーム」を楽しもう（10月16日）

(18) 救命救急法講習会（12月11日）

(19) 成年後見制度の理解と推進・認知症講座（中止）

(20) 健康づくり講座（10月7日）

(21) 高齢者が多くの人とふれあえる場の提供（グラウンドゴルフ大会 12月2日）

(22) PTA等役員経験者連絡会議（通年）

役員経験者を中心に「スマイルup加茂」を結成し，年40回程度活動

(23) お出かけ支援事業の検討（通年）



第25回加茂ふれあい文化祭 作品展



「ペタンクゲーム」を楽しもう

## 成果

徐々に協働のまちづくりが学区に浸透し，各主管団体が自主的・主体的に活動し事業に取り組んでいる。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった事業があったが，工夫を重ね感染症防止対策を行いながら少人数でも事業を開催した。

まちづくり計画終了後の「まちづくり」の方向性についても、2020年度から「拡大事務局会」や「まちづくりミーティング」等を開催し、これからの方向性を出すことができた。

## 課題

今後のまちづくり事業の変化に対応した組織づくりや、次世代育成が必要である。

## 課題解決にむけて

「スマイルup加茂」などの若い世代を中心に継続可能な対策を考えていく。

# 加茂学区まちづくりミーティングを開催！

加茂学区では2021年11月、2回にわたって「まちづくりミーティング」を開催しました。

座談会形式で行われたミーティングには、まちづくり推進委員会事務局員をはじめ学区内の各種団体などから27人が参加し、和やかな雰囲気の中で30代～70代の世代を超えた住民同士が交流し、これからの加茂学区について考え、それぞれの思いを真剣に話しました。



### 【1回目】11月2日（火）

はじめに、福山市持続可能な地域コミュニティ形成に関する政策アドバイザーの櫻井常矢教授（高崎経済大学）から「これからの地域づくりをえがく」をテーマにお話しいただき、その後のグループで「加茂学区と言ったら」、「加茂学区の“よいところ”がんばり・努力」、「気になること・改善すべきこと、もっと地域の力が必要なこと」について話し合いました。

### 【2回目】11月26日（金）

1回目で出た課題を、グループごとに「誰がする・どこにつなげる・方法やルール」の交流をしながら、「行政・町内会・まちづくり」で取り組むことに、仕分けをしました。「まちづくり」に仕分けされたものを具体的にどうしていくのか、そのためには何が必要なのかを、既存のまちづくり事業をイメージしながら課題について考え、付箋に書きだし話し合いをしました。



2回のミーティングを通して、幅広い世代と一緒に話し合うことができ、今までにない新しい発想や方法を考えることができました。



この「まちづくりミーティング」と2020年度に行った拡大事務局会で出された意見をまとめ、これからの「まちづくり」の方向性を事務局会・役員会で協議、2022年度の総会で決定し、出された意見をもとにした新たな事業にも取り組んでいきます。